

NY マーケットレポート (2015年11月12日)

NY市場では、注目されたイエレンFRB議長のイベントでの挨拶で、具体的な金融政策に関する言及がなかったことや、セントルイス連銀総裁が講演で12月の利上げの可能性に言及したものの、「利上げには、早過ぎるリスクがある」と述べたこと、またシカゴ連銀総裁は「多くのメンバーよりいくらか遅い利上げを支持」と発言したことから、期待されていた程12月の利上げを裏付ける発言が無かったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。そして、ユーロは対ドルで堅調な動きとなったことから、対円でも堅調な動きとなったが、株価下落や、原油価格の下落を背景に、豪ドルなどの資源国通貨などは、やや上値の重い動きとなった。

2015/11/12 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	122.93	123.04	122.75
EUR/JPY	132.07	132.54	131.97
GBP/JPY	186.92	187.52	186.81
AUD/JPY	87.80	87.95	86.74
EUR/USD	1.0745	1.0781	1.0742

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	123.08	122.88
EUR/JPY	132.10	131.48
GBP/JPY	186.96	186.56
AUD/JPY	87.94	87.57
EUR/USD	1.0751	1.0692

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19697.77	+6.38
ハンセン指数	22888.92	+536.75
上海総合	3632.90	-17.35
韓国総合指数	1993.36	-3.91
豪ASX200	5125.69	+3.07
インドSENSEX指数	休場	
シンガポールST指数	2959.01	-22.58

*インド市場はDiwaliのため休場

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6178.68	-118.52
仏CAC40	4856.65	-95.86
独DAX	10782.63	-125.24
ST欧州600	372.56	-6.15
西IBEX35指数	10144.00	-233.20
伊FTSE MIB指数	21859.29	-525.82
南ア全株指数	52056.67	-537.43

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	122.58	123.04	122.56
EUR/JPY	132.62	132.75	131.85
GBP/JPY	186.75	187.11	186.57
AUD/JPY	87.39	87.60	87.14
NZD/JPY	80.20	80.35	79.95
EUR/USD	1.0820	1.0831	1.0720
AUD/USD	0.7129	0.7132	0.7086

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17448.07	-254.15
S&P500	2045.97	-29.03
NASDAQ	5005.08	-61.94
日経225 (CME)	19470	-245
🇨🇦 トロント総合	13127.18	-214.75
🇧🇷 ボルサ指数	44120.52	-227.39
🇧🇷 ボベスバ指数	46883.58	-181.43

11/13 経済指標スケジュール

11:00	【NZ】10月非居住者国債保有率
13:30	【日】9月鉱工業生産
13:30	【日】9月稼働率指数
13:30	【日】9月第三次産業活動指数
14:00	【シンガポール】9月小売売上高
15:30	【仏】3Q GDP
16:00	【独】3Q GDP
16:45	【仏】3Q非農業部門雇用者
17:15	【スイス】10月生産者輸入価格
17:30	【香港】GDP(前期比)-3Q
18:00	【ポーランド】3Q GDP
19:00	【欧】3Q GDP
19:00	【欧】9月貿易収支
22:00	【ポーランド】9月経常収支
22:00	【ポーランド】9月貿易収支
22:00	【ポーランド】10月消費者物価指数
22:30	【米】10月生産者物価指数
22:30	【米】10月小売売上高
00:00	【米】11月ミンガン大学消費者信頼感指数
00:00	【米】9月企業在庫

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1081.00	-3.90
NY 原油	41.75	-1.18
CMEコーン	362.00	-0.25
CBOT 大豆	863.00	+2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.88%	0.87%
3年債	1.23%	1.23%
5年債	1.71%	1.71%
7年債	2.08%	2.09%
10年債	2.31%	2.34%
30年債	3.09%	3.11%

11/13 主要会議・講演・その他予定

- ・EU経済・財務相理事会
- ・セントルイス連銀総裁 講演
- ・G20首脳会議 (15日～16日)

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 123.01 ユーロ/円 131.87 ユーロ/ドル 1.0722

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6259.61	-37.59	ダウ 先物ミニ	17630	-25
仏 CAC40	4906.15	-46.36	S&P 500 ミニ	2068.25	-0.75
独 DAX	10858.62	-49.25	NASDAQ 100 ミニ	4629.50	-2.25

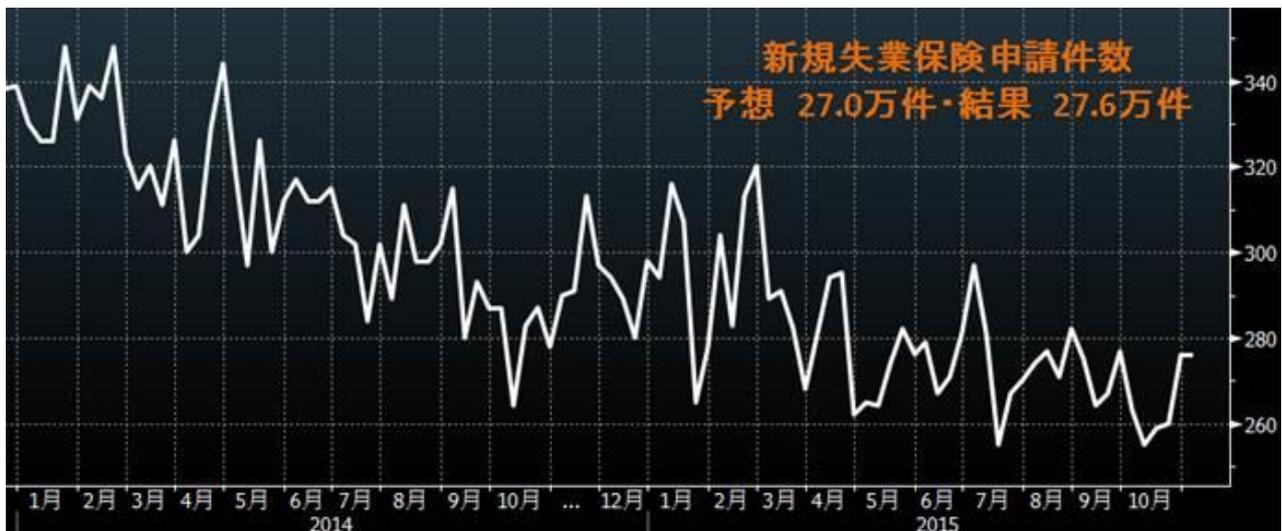
(出所:SBILM)

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 27.6 万件 (予想 27.0 万件・前回 27.6 万件)

失業保険継続受給者数 217.4 万人 (予想 215.5 万人・前回 216.9 万人)
 前回発表の 216.3 万人から 216.9 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
15/11/07	276,000	0	267.750	*****	*****
15/10/31	276,000	+16,000	262.750	2,174,000	1.6%
15/10/24	260,000	+1,000	259.250	2,169,000	1.6%
15/10/17	259,000	+3,000	263.250	2,146,000	1.6%
15/10/10	256,000	-6,000	265.250	2,172,000	1.6%
15/10/03	262,000	-14,000	267.250	2,165,000	1.6%
15/09/26	276,000	+9,000	270.500	2,209,000	1.6%
15/09/19	267,000	+3,000	271.750	2,195,000	1.6%
15/09/12	264,000	-11,000	272.500	2,244,000	1.7%
15/09/05	275,000	-6,000	275.750	2,243,000	1.7%

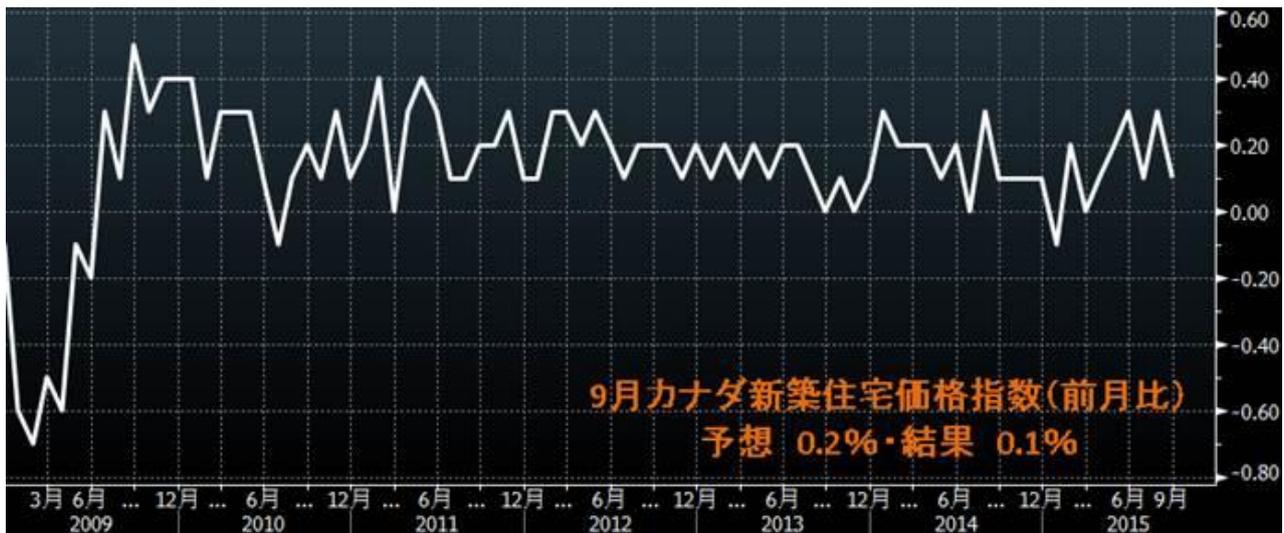
受給者数は集計が1週間遅れる

22:30

《 経済指標の結果 》

9月カナダ新築住宅価格指数 (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.3%)

9月カナダ新築住宅価格指数 (前年比) 1.3% (予想 1.3%・前回 1.3%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

23 : 10

《 要人発言 》

ブラド・セントルイス連銀総裁

- ・「極端な政策で実験を続ける理由はない」
- ・「FOMC の目標は一部基準において達成」
- ・「金融政策を正常に近づけるのが賢明」

《 海外の話題 》

ロシア国家統計局が発表した 2015 年 7-9 月期の GDP 速報値は、前年同期比-4.1%となり、3 四半期連続のマイナス成長となった。高インフレで個人消費が低迷しているほか、原油安や欧米の経済制裁が圧迫要因となった。4-6 月期の GDP は-4.6%だった。OECD（経済協力開発機構）が公表した経済予測では、ロシアの 2015 年の GDP は 2014 年より 4.0%落ち込み、年間ベースでは 6 年ぶりにマイナス成長となる見込み。

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17565.53	-136.69
ナスダック	5042.61	-24.451

(出所 : SBILM)

23 : 35

《ポイント》

イエレン FRB 議長は、ワシントンでのイベントで挨拶、金融危機後に FRB や日銀などが導入した量的緩和などの「非伝統的」とされた新たな金融政策は、景気のでこ入れ効果などが発揮される経路が、従来の政策とは異なっていると指摘、経済活動や金融への影響を十分に考慮する必要があるとの見方を示した。こうした新たな手法に関し、金融政策当局者は慎重に利点と欠点とを秤に掛けて活用していく必要があると述べた。なお、具体的な政策や経済に言及せず。

23 : 45

《 要人発言 》

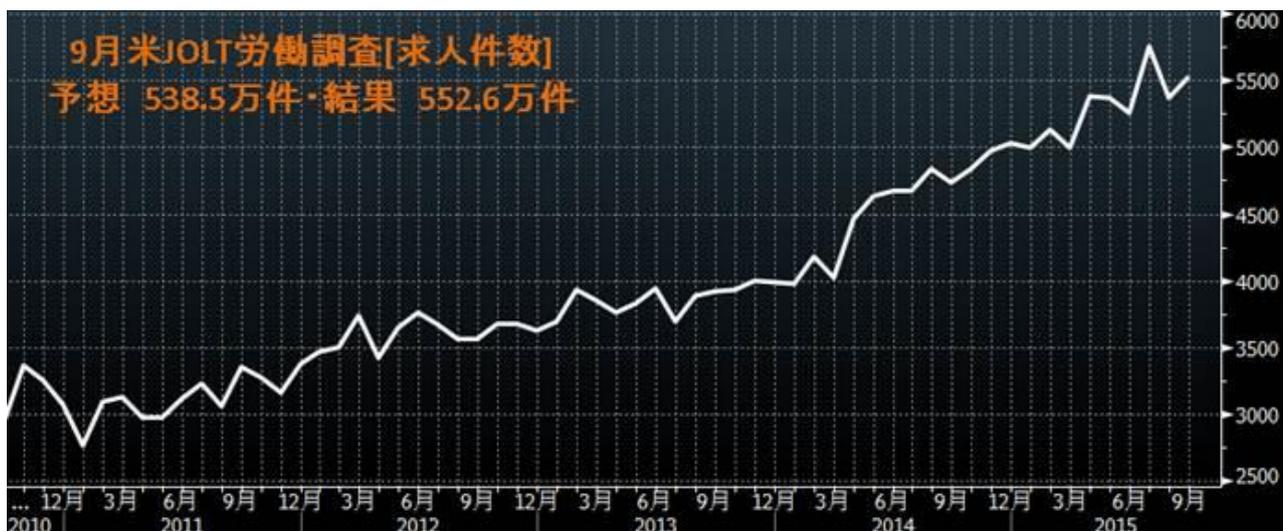
ラッカー・リッチモンド連銀総裁

- ・「金融市場への政策対応は慎重に」
- ・「QE の実質的経済効果は限定的だったとの見方は妥当」
- ・「金融政策はインフレ対応に比類なく適している」

0 : 01

《 経済指標の結果 》

9 月米 JOLT 労働調査[求人件数] 552.6 万件 (予想 538.5 万件・前回 537.7 万件)
 前回発表の 537.0 万件から 537.7 万件に修正



(出所 : ブルームバーグ)

指標結果データ

《JOLT 労働調査》

9月・・・8月・・・7月・・・6月・・・5月・・・4月・・・3月
求人数・・・552.6・・・537.7・・・566.8・・・532.3・・・535.7・・・533.4・・・510.9

0:20

《 要人発言 》

エバンス・シカゴ連銀総裁

- ・「FOMC の物価目標は、中期的な達成への確信ない」
- ・「利上げ前にインフレに対する確信強める必要」
- ・「FF 金利は、2016 年末時点で 1%未満が適切な可能性」
- ・「多くのメンバーよりかいくらか遅い利上げを支持」
- ・「毎回 0.25 ポイント上昇より遅い金利軌道を支持」

0:30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、セントルイス連銀総裁が講演で米国は利上げすべきだと発言したことで、FRB が 12 月に利上げを実施するとの警戒感が強まったことや、欧州主要株価が軟調な動きとなったことも影響して、主要株価は軟調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 186 ドル安まで下落する動きとなっている。

1:00

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・422 万バレル増加
ガソリン在庫・・・210 万バレル減少
留出油在庫・・・35.2 万バレル増加

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比横ばいの 27.6 万件となり、市場予想の 27.0 万件を上回る結果となった。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+0.5 万件的 26 万 7750 人。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+0.5 万人の 217.4 万人となり、2 週連続で増加した。そして、受給者総数の 4 週移動平均は、前週比+2250 人の 216 万 5250 人。受給者比率は、前週比横ばいの 1.6%となった。

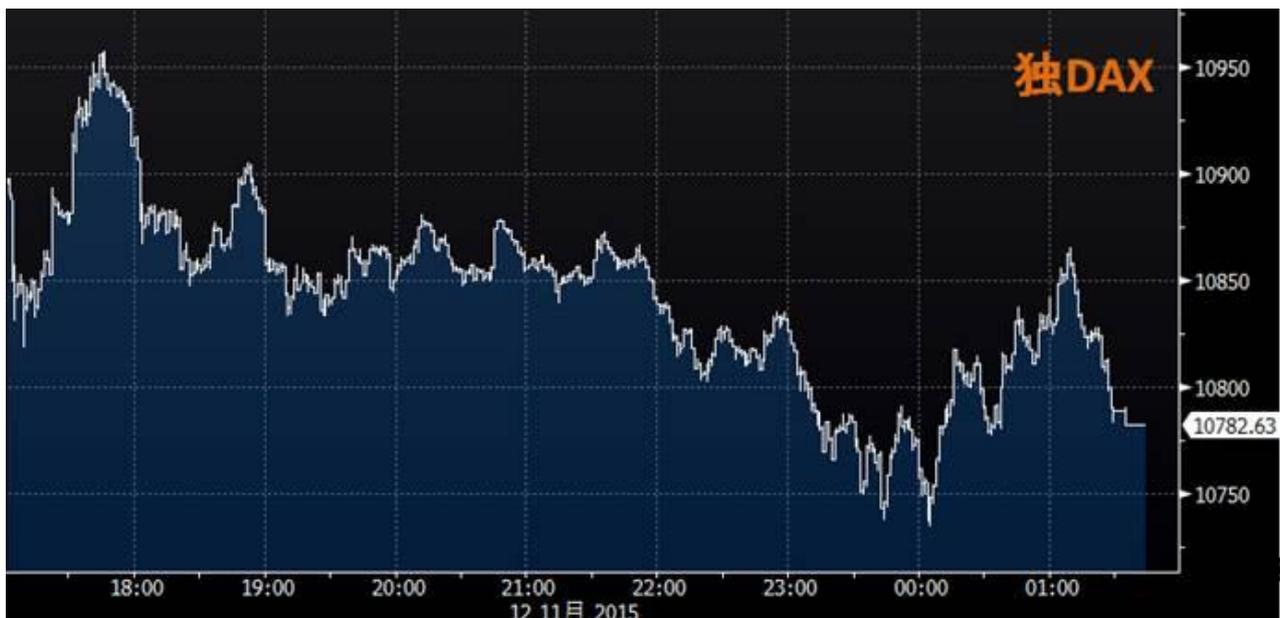
(2) 9月の米求人数は、前月比で+14.9 万件的 553 万件となり、前月の 538 万件、市場予想の 540 万件を上回る結果となった。9月に新たに雇用された労働者は 505 万人に減少となり、全雇用者に占める新規雇用者の比率も 3.5%と、前月の 3.6%から低下した。自発的離職者は 272 万人で、前月の 277 万人から減少。離職率は 1.9%で、前月と同水準。また、解雇者は前月からほぼ変わらずの 173 万人だった。9月までの 1 年間に新規雇用された労働者は 6090 万人、離職者数が 5820 万人で、差し引き 270 万人の雇用純増となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6178.68	-118.52
仏 CAC40	4856.65	-95.86
独 DAX	10782.63	-125.24
ストック欧州 600 指数	372.56	-6.15
ユーロファースト 300 指数	1470.05	-24.13
スペイン IBEX35 指数	10144.00	-233.20
イタリア FTSE MIB 指数	21859.29	-525.82
南ア アフリカ全株指数	52056.67	-537.43

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績先行きへの警戒感が強まったことや、中国経済の減速懸念も投資家心理を冷やし、主要株価は軒並み大幅下落となった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17554.44 (-147.78)、S&P500 2059.32 (-15.68) ナスダック 5048.81 (-18.21)

《NY債券市場・午前》

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株の大幅下落で投資家のリスク回避志向が強まり、長期債を中心に安全資産とされる米国債の逃避買いがやや先行した。ただ、30年物国債入札を控えて様子見ムードも強く、上げ幅は限定的だった。

午前の利回りは、30年債が3.10%（10日3.11%）、10年債が3.32%（2.34%）、7年債が2.08%（2.08%）、5年債が1.71%（1.71%）、3年債が1.23%（1.23%）、2年債が0.87%（0.87%）。

2:15

《 要人発言 》

ダドリー・NY連銀総裁

- ・「現行政策は例を見ないような刺激策ではない」
- ・「利上げには、早過ぎるリスクと遅すぎるリスクがほぼ均衡」
- ・「インフレ率は、なおも FOMC の目標を大きく下回る」
- ・「12 月利上げを支持するかどうかは発言控える」
- ・「利上げ開始の条件が近く整う可能性はある」
- ・「利上げ開始延長はハードランディングのリスク高める」

《欧州のポイント》

①ドラギ ECB 総裁は、ブリュッセルの欧州議会での証言で、インフレが弱まり景気見通しは悪化しているとの認識を示し、ECB が 12 月に金融緩和を拡大する用意があることを示唆した。ユーロ圏の景気については、「需要を弱めがちな外的影響に対して幾分の耐性を示した」と述べつつ、インフレ見通しは資産購入プログラム開始時に比べ悪化したとの認識を示した。また、「過去数年にわたる長らく景気低迷が引き続き名目賃金の伸びを圧迫し、これが今後の物価圧力を弱める可能性がある」と分析した上で、「インフレ率の持続的な正常化にかかる時間は、政策措置の全体的なインパクトについて当初判断した 3 月時点の予想より長くなる恐れがある」と語った。

②イタリア財務省が実施した 3 年物国債入札は、落札利回りが 0.11%と前月の 0.25%から低下し、過去最低を更新した。応札倍率は 1.9%だった。ECB が 12 月に金融緩和に踏み切るとの観測を背景に、ユーロ圏では国債利回りが低下している。7 年債の入札は、落札利回りが 0.98%と前月の 1.24%から低下し 4 月以来の低水準となった。また、30 年債は 2039 年 8 月償還分が 2.64%、2040 年 9 月償還分が 2.71%だった。調達総額は 55 億ユーロ（59 億ドル）と予想レンジのほぼ上限となった。

③ギリシャ統計局が発表した 8 月の失業率は、24.6%と前月の 24.9%から低下した。ギリシャの失業率は、2013 年 9 月に 27.9%と過去最高をつけた後は低下しているが、8 月は依然としてユーロ圏の平均である 10.9%の 2 倍以上の水準となっている。

3:00

《米財務省 30 年債入札》

最高落札利回り・・・3.070%（前回 2.914%）
最低落札利回り・・・2.936%（前回 2.795%）
最高利回り落札比率・・・95.55%（前回 91.87%）
応札倍率・・・2.41 倍（前回 2.46 倍）

《海外の話題》

OPEC（石油輸出機構）が発表した 11 月月報によると、OPEC 加盟 12 カ国の 10 月の産油量は 2 次情報ベースで日量 3138 万 2000 バレルと、前月比で 25 万 6500 バレルの減少となった。ただ、引き続き OPEC の生産目標 3000 万バレルを上回った。国別では、イラクが前月比日量-19 万 5400 バレルの 401 万 2000 バレル。サウジアラビアは日量-7 万 2200 バレルの 1012 万 5000 バレル、クウェートは日量-4 万 4500 バレルの 268 万 8000 バレル、リビアは+5 万 2800 バレルの 42 万 600 バレル。OPEC は、2015、2016 年の世界石油需要及び非 OPEC 諸国供給量の見通しを前月から据え置いた。この結果、2016 年は世界需要が緩やかに増加するものの、非 OPEC の供給量は減少することで、OPEC 産への需要が日量 3082 万バレル（2015 年は 2961 万バレル）に増加するとの予想を堅持した。

3 : 15

◀ 要人発言 ▶

ダドリー・NY連銀総裁

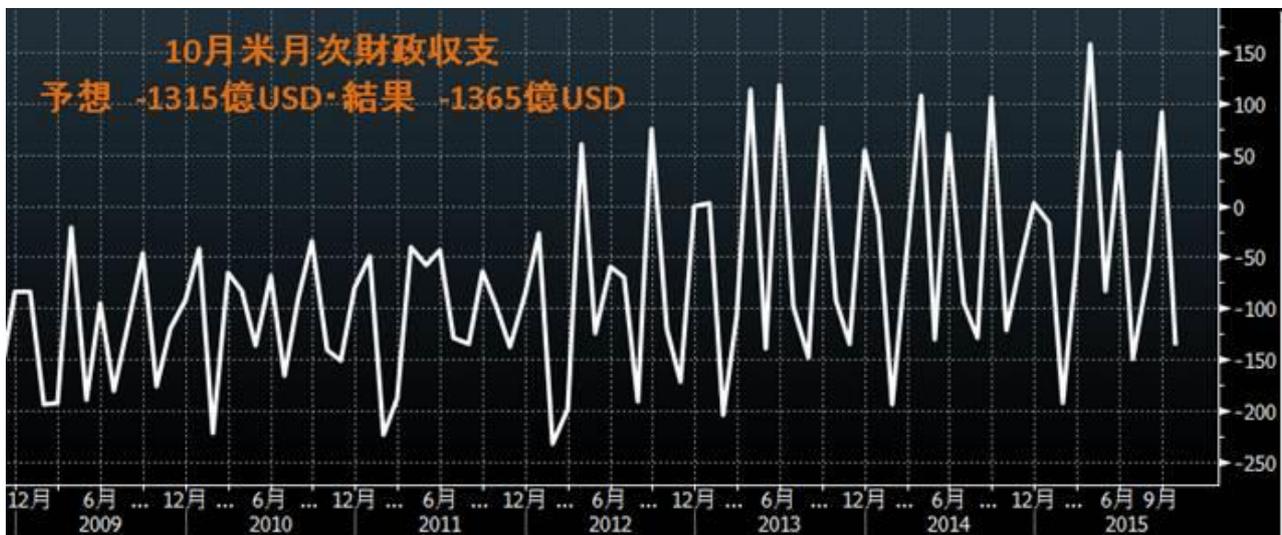
- ・「利上げ開始延長はハードランディングのリスク高める」
- ・「ドルの強さが 2016 年の貿易を圧迫する可能性は高い」
- ・「中国経済に不安が残るのは当然」

4 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米月次財政収支 -1365億USD（予想 -1315億USD・前回 911億USD）

※前年同月 -1217億USD



(出所：ブルームバーグ)

4 : 40

NY金は、中心限月が前日比 3.90 ドル安の 1 オンス=1081.00 ドルで取引を終了した。

5 : 20

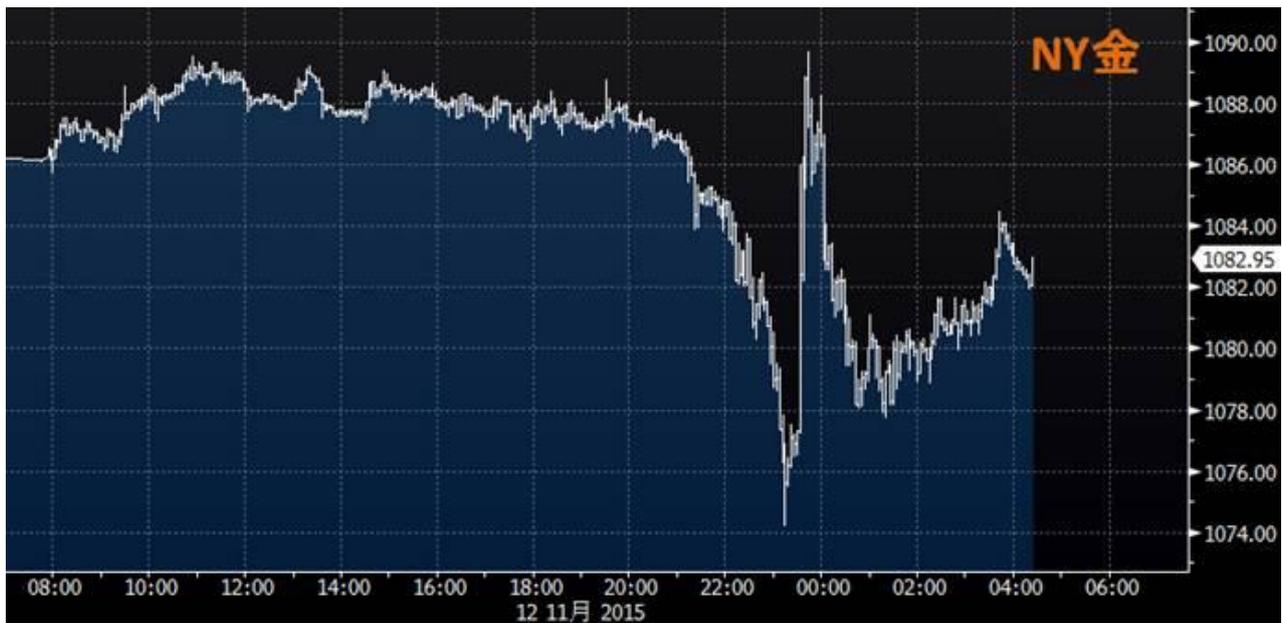
NY原油は、中心限月が前日比 1.18 ドル安の 1 バレル=41.75 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1081.00	-3.90
NY 原油	41.75	-1.18

(出所：SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

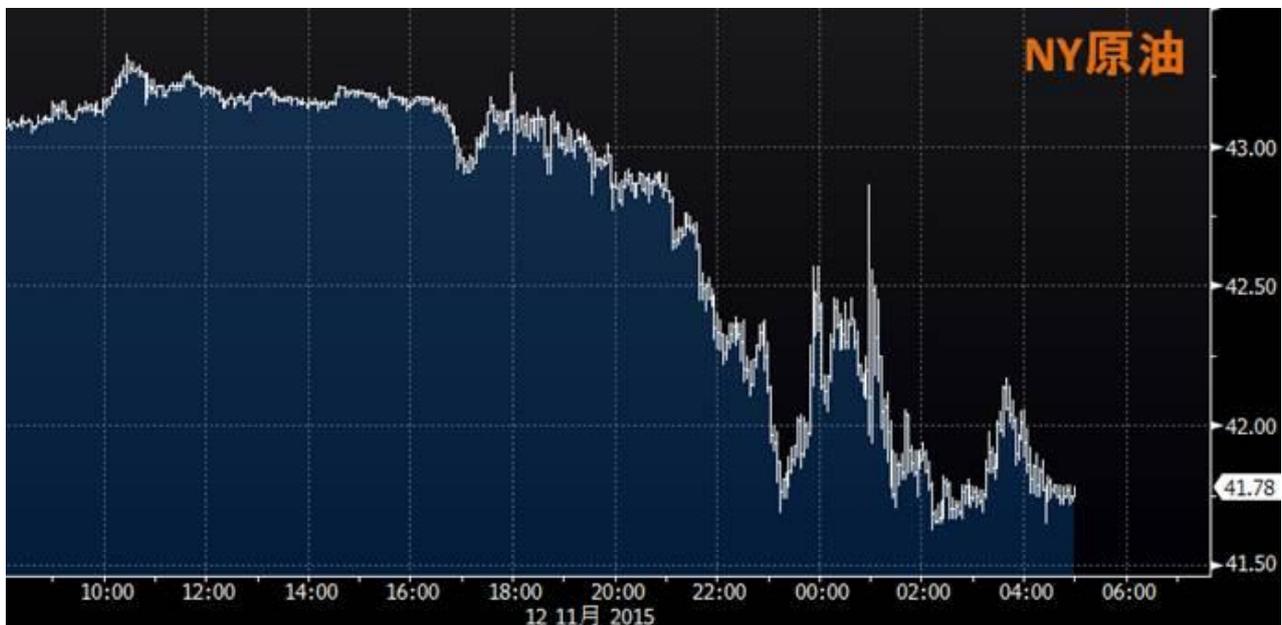
NY金は、米FRBが12月に利上げを開始するとの見方を背景に相場の先安観が強まり、売りが優勢となった。ただ、ドルが主要通貨に対して下落したことから、代替資産とされる金を買戻す動きもみられた。終値ベースでは、2010年2月以来、約5年9か月ぶりの安値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、米石油統計で原油在庫が市場の予想以上に増えたことが嫌気され、売りが加速した。また、OPECが発表した月報も供給過剰の状態が続くことが示されたことも圧迫材料となった。終値ベースでは、8月下旬以来約2カ月半ぶりの安値水準となった。



(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17448.08	-254.15	17691.73	17443.50
S&P500 種	2045.97	-29.03	2072.29	2045.66
ナスダック	5005.08	-61.94	5062.49	5004.46

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米当局者が米国は利上げすべきだと発言したことで、FRB が 12 月に利上げを実施するとの警戒感が強まったことや、欧州主要株価が軟調な動きとなったことも影響して、主要株価は軟調な動きとなった。その後はもみ合いの展開が続いたが、終盤には下げ幅を拡大する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、終盤には一時前日比で 186 ドル安まで下落する動きとなった。



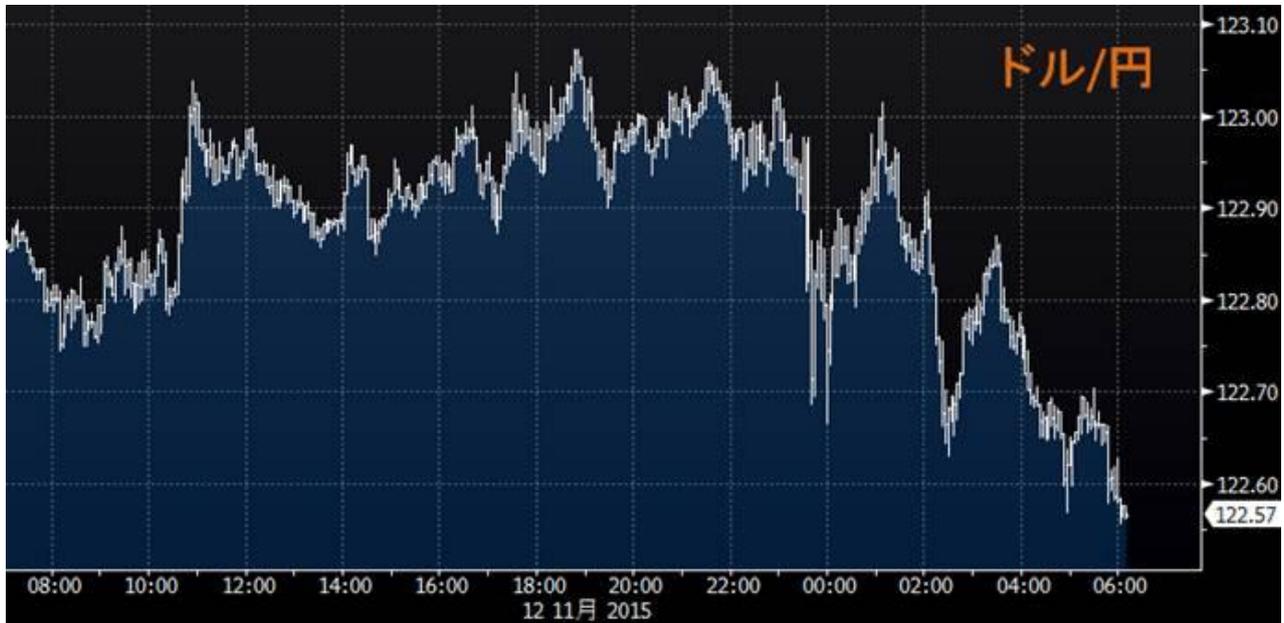
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	122.58	123.04	122.56
EUR/JPY	132.62	132.75	131.85
GBP/JPY	186.75	187.11	186.57
AUD/JPY	87.39	87.60	87.14
NZD/JPY	80.20	80.35	79.95
EUR/USD	1.0820	1.0831	1.0720
AUD/USD	0.7129	0.7132	0.7086

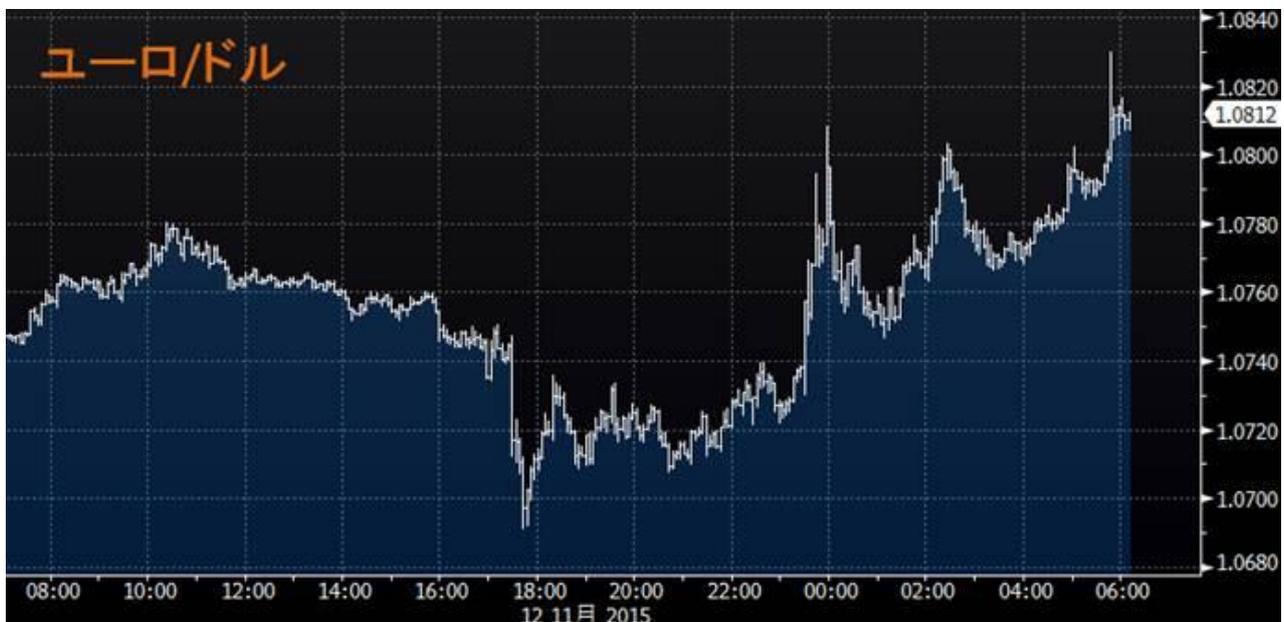
(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米当局者のまちまちな発言を受けて、ドルが売り・買い交錯する動きとなった。その後は、ドルが大半の主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、欧米の株価が大きく下落したことが影響し、オセアニアを中心に対円で上値の重い動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。